

隣の0930におくさま 奪われて みたい 筆貞を

勉強と人妻おまのこの
両立に悩む日々も
クライマックスへ!!

難解な方程式や
文法を解く合間に!!





最近ボクは
ますます：

えっ：

学生 吉野まこと



とある平日
午後四時—



アパート隣に住む人妻
みずほさんから目が離せない—!!

どうしてもいれたい!!
オクサマ
隣 0930

な：っ！
なんてかつこで
外でてんだよ：!!







いや：ボクもう
何もかも手に
つかないんだ!!

みずほサンで
頭いっぱいなんだ
：！

えっ!?



ままだ
おっ立ってるわ
：！



あたしなんかより
学校の若い女の子
のが：

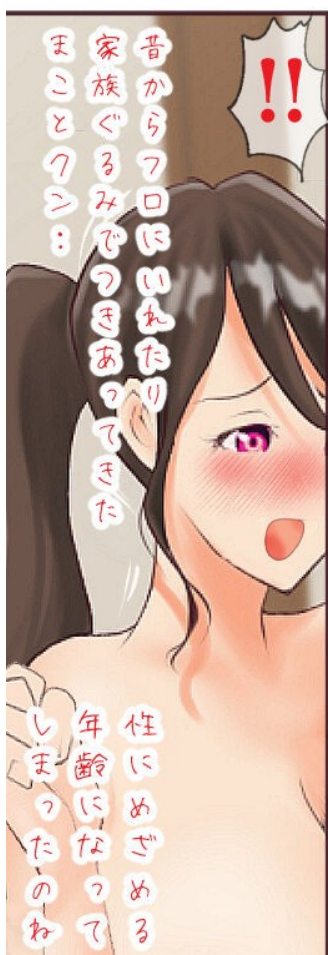
ちがう
ちがう



来年受験なのに!
毎日毎日
みずほさんの裸が
頭をよぎって!!

そ：んな

隣にこんな
グラマラスな
人がいるんだ
もん!!



!!
昔からフロにいらたり
家族ぐるみでつきあってきた
まことワン：



みずほさん
じゃなきゃ
だめなんだよ!!!



若い女にはだせない
ムンムン匂い立つ色気
むっちむっちボディ!!

ボクもう
虜なんだ



みずほさんで
ドーテーすてたい
んだっ!!!

がっばっ



みずほさん!!!!

ボク!!

家族もちようど
いない!!
ふたりきりだ!!
これは神がくれた
千載一遇の
チャンスだ!!



あ：たし
ダンナも子もいるし
：そーゆーのは
初カノにとついたら

どうしょ：
これから夕食の買い物
行くとこなのに
！

オナナとして
ちよつと
嬉しかったけど：

いいや!!
ボカあ本気だ
!!



ボクの童貞
捨てさせて：!!

おねがいっ



えええっ
：
あたしで
!?

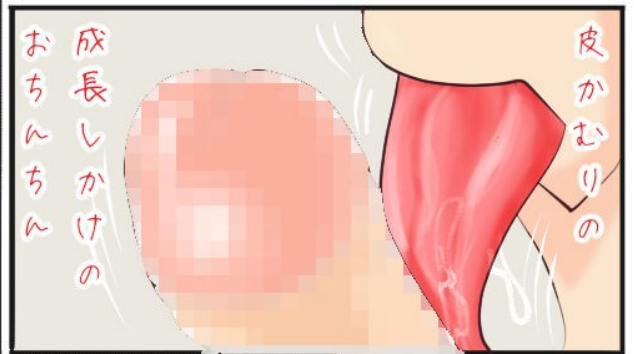
お願いっ!!
このとおりだよ!!
みずほさんじゃなきゃ
いやなんだようっ

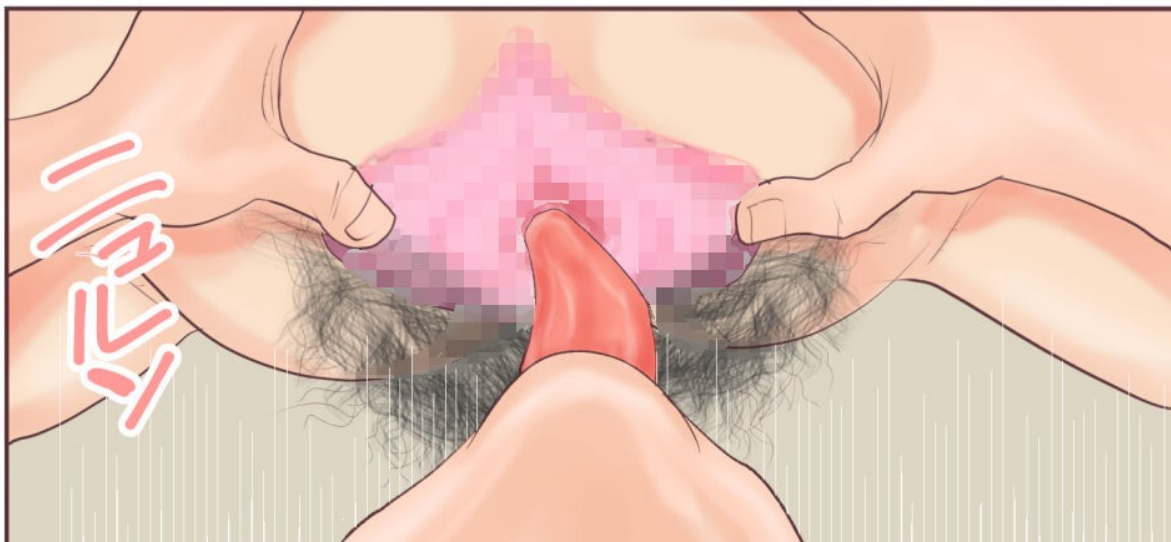
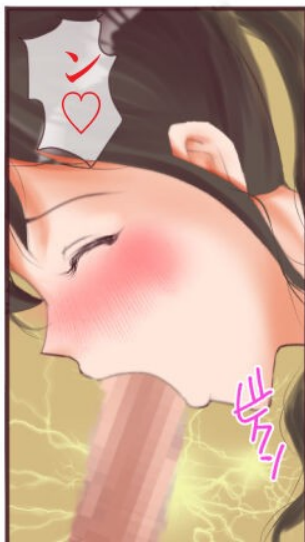
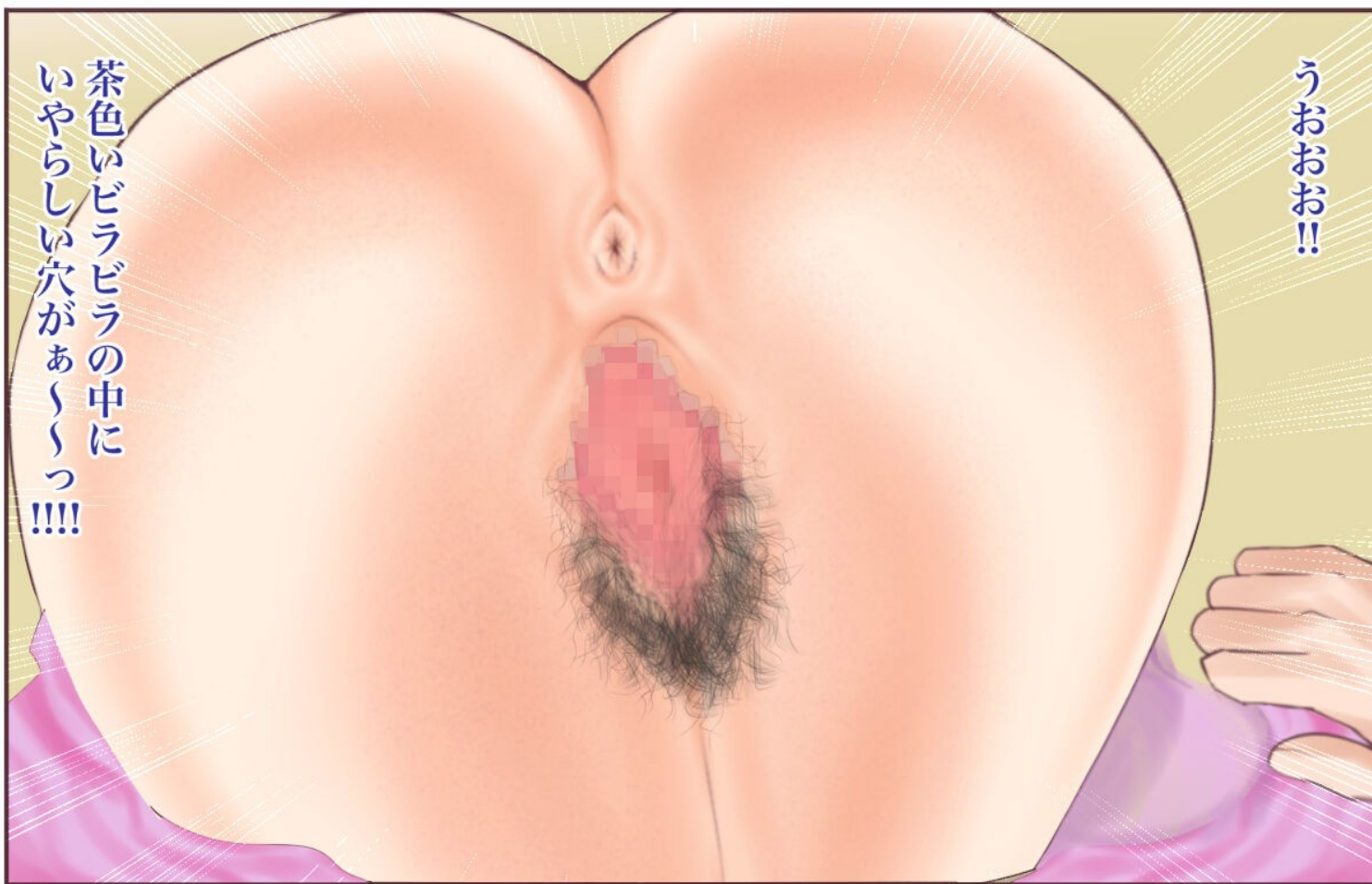
ギンギン

は：初めての女性経験一人目が：あたし!?









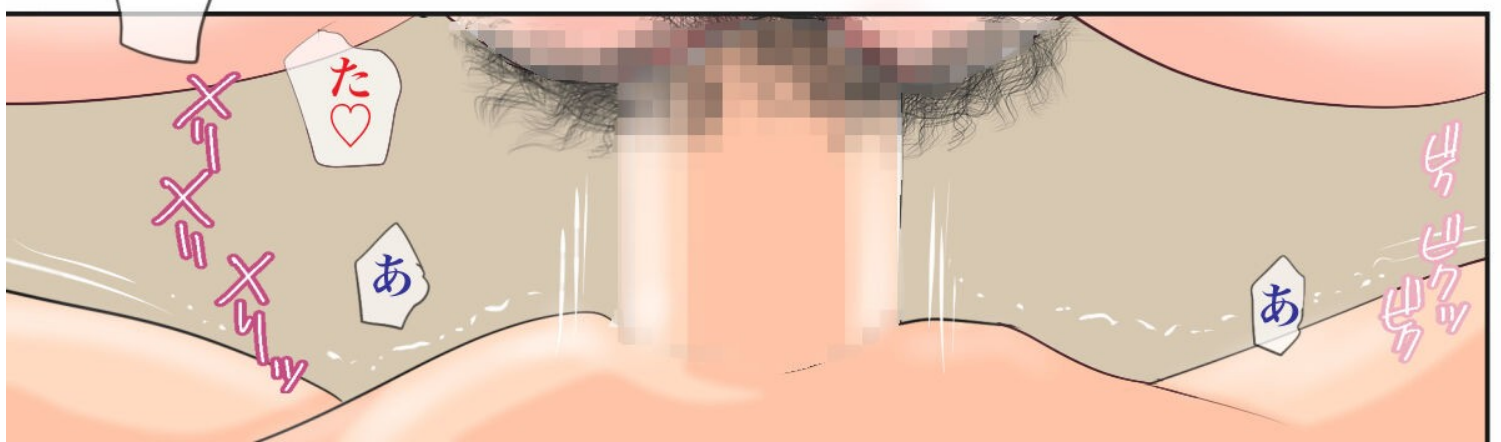


















ね ねえ!
今度はボクから:
いれていい?

うん
じゃ まー君が
腰ふってみて:♡



よおし

はぁ
んはあ

ぼ
ぼくから
おま○こに挿入だっ:!!



はぁ
はぁ
はぁ
はぁ

ハッ
ハッ
ハッ
ハッ



今日ボクは
しってしまったー

はぁ
はぁ

はぁ
はぁ

はぁ
はぁ

おんなの人に
入れる悦びを:!!



毎日いれたいんだ!!

童貞を捨てた
このおま○こに…!!

ムムム

ムムム

ムムム

ムムム

い：いい!
す：ごくいいワ
そのまゝ奥まで

おもいきり
突いてちょうだい!

く：ううう：ツ!!

おちんちんをだし入れするこの快感：

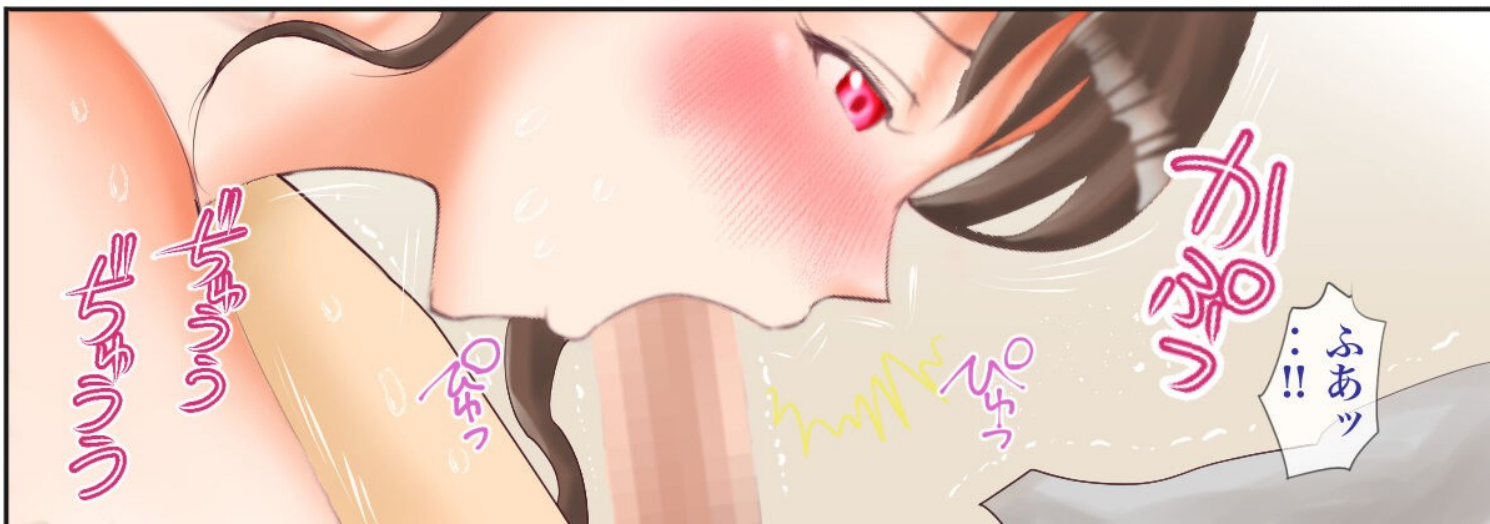
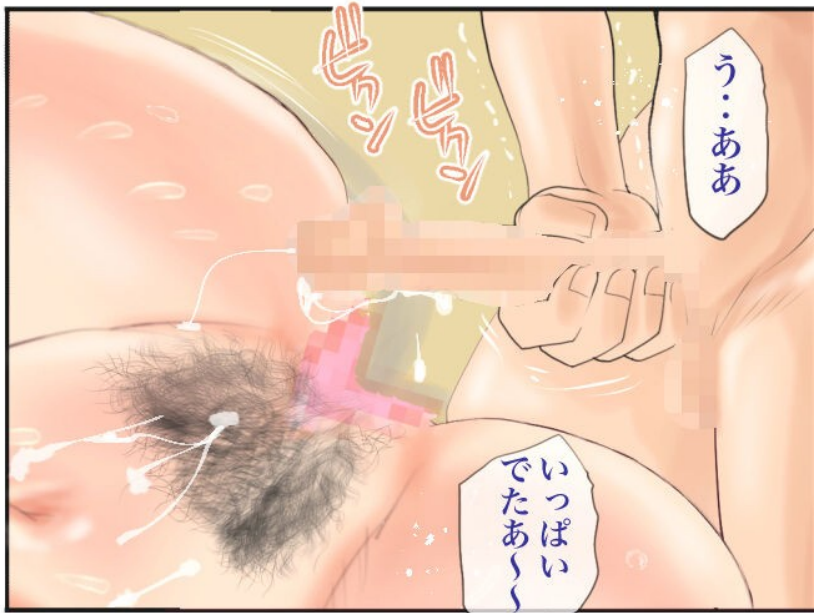
ずずず

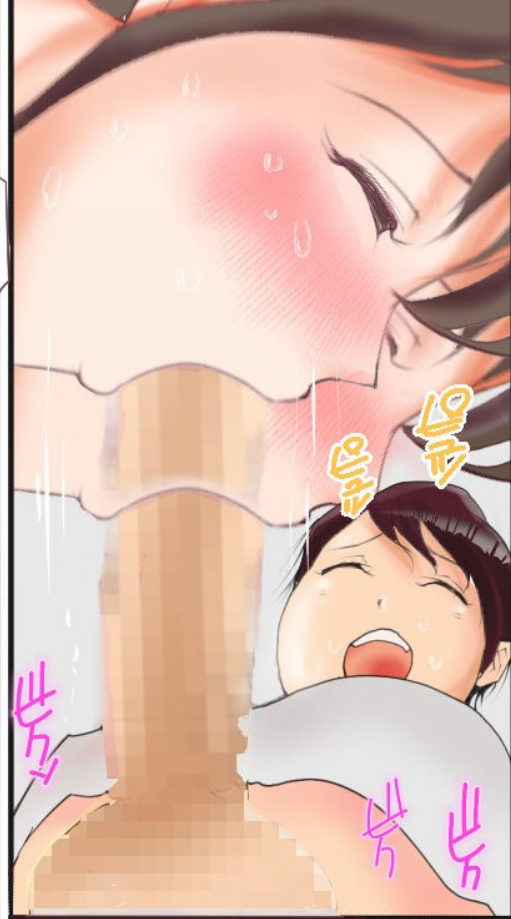
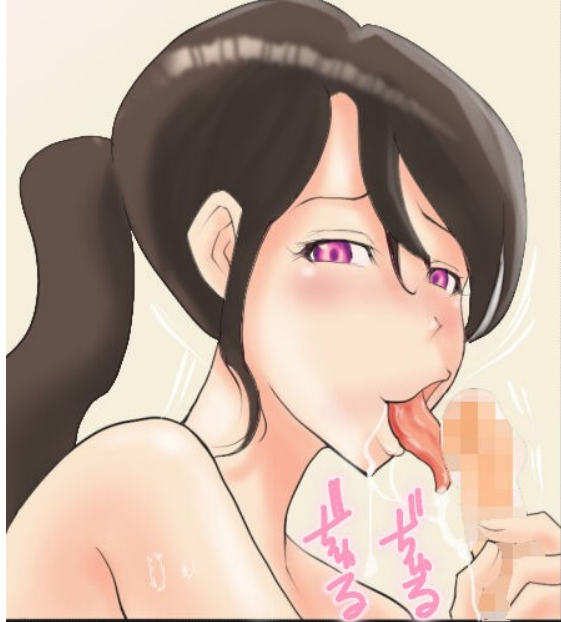
もうたまんない!!!!











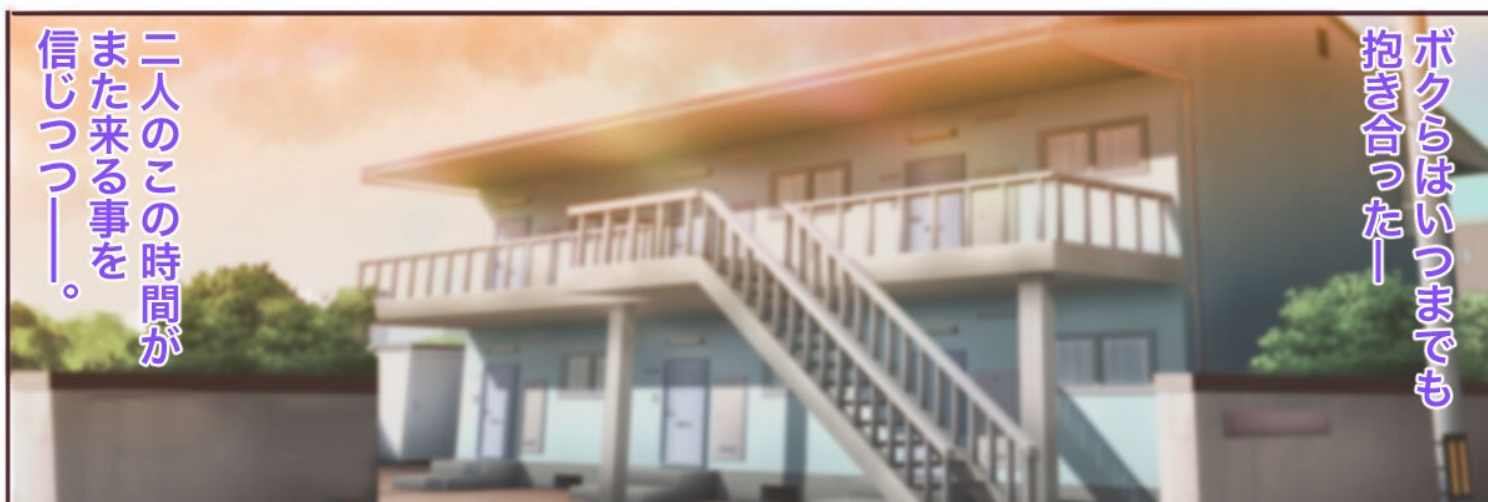


ボク：みずほさんしか
みえない!!

みずほさんじゃなきゃ
ダメなんだようっ!!

うふふ
ありがと…!!

私も久々に
オシナの悦び
感じちゃったワ…!!



ボクらはいつまでも
抱き合っただー

二人のこの時間が
また来る事を
信じつつー。

そして――

二人は何事もなかったように
それぞれの生活へ追われる――



ボクはとゆえば

童貞を捨てた感激ともやもやで
思いうかぶは
いれた時の感覚ばかり……

合格!!

絶対合格!!

……ああ……

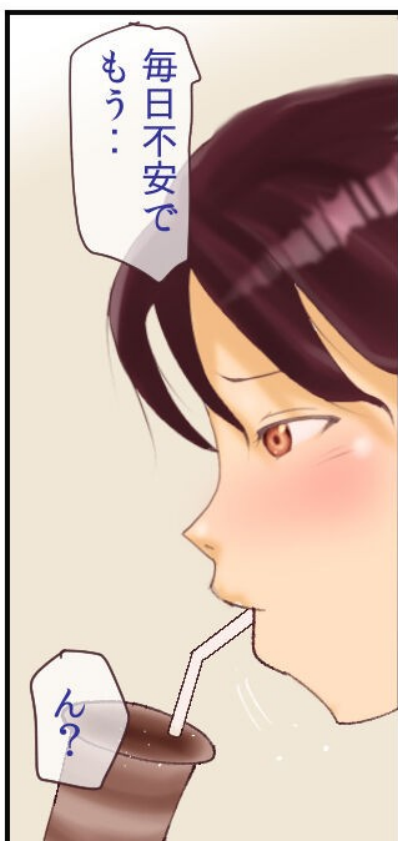


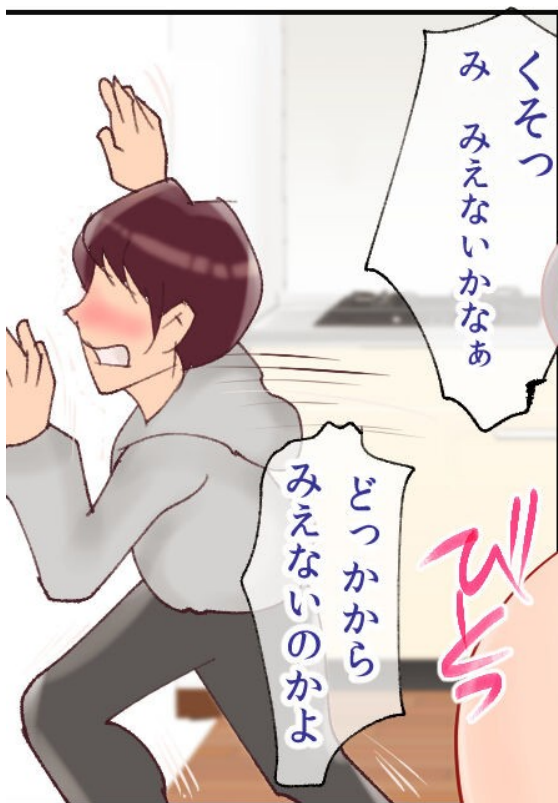
隣の奥様に

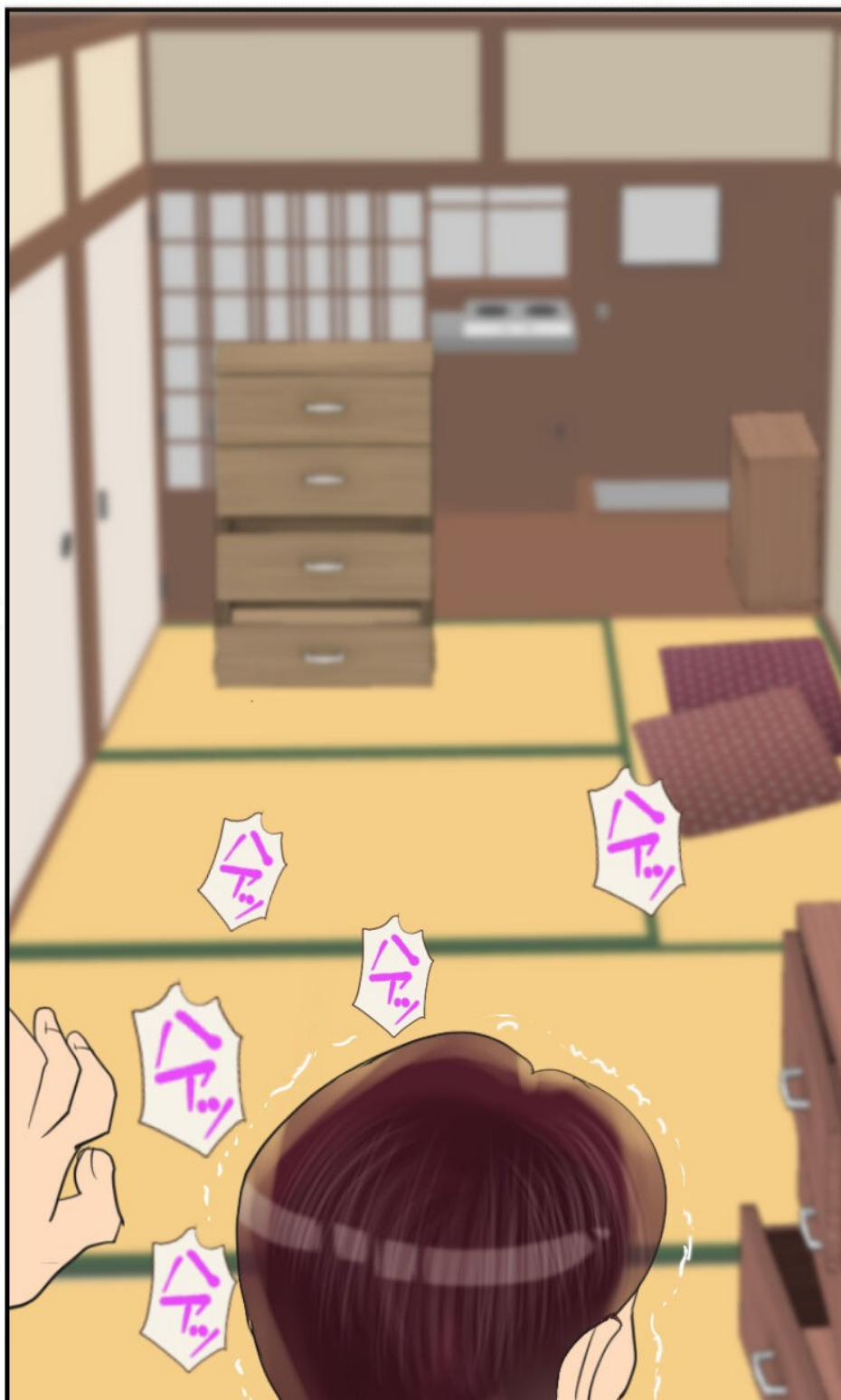
みずほさん

どうしてもまたいれたい

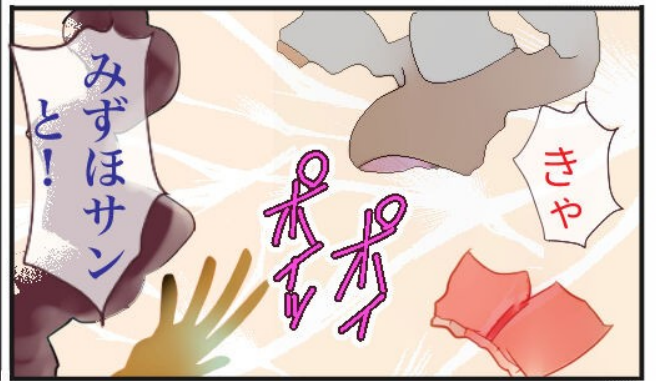






































賢者タイムを
経てー

ボクは
リセットし
復活する

支度を整え塾へ向かう時間だ

やれる気がする
勝てる気がする

ボクにはみずほサンがいるんだ…!!

必ず合格してみせるー!!

その日の夜
十二時半

塾から戻ったボクは
復習をしながら
あすに備えていた

ぶつぶつ

ぶつぶつ

うう

カキカキ

カキカキカキカキ



ああ、疲れたよう...!!
今日はそろそろ
おわりにするか...!

ふふふふ

受験生
吉野まこと

カタッ

!?



一服してるぞ...
寝るとこなのかなー!

ドキドキ



みずほさんだっ!



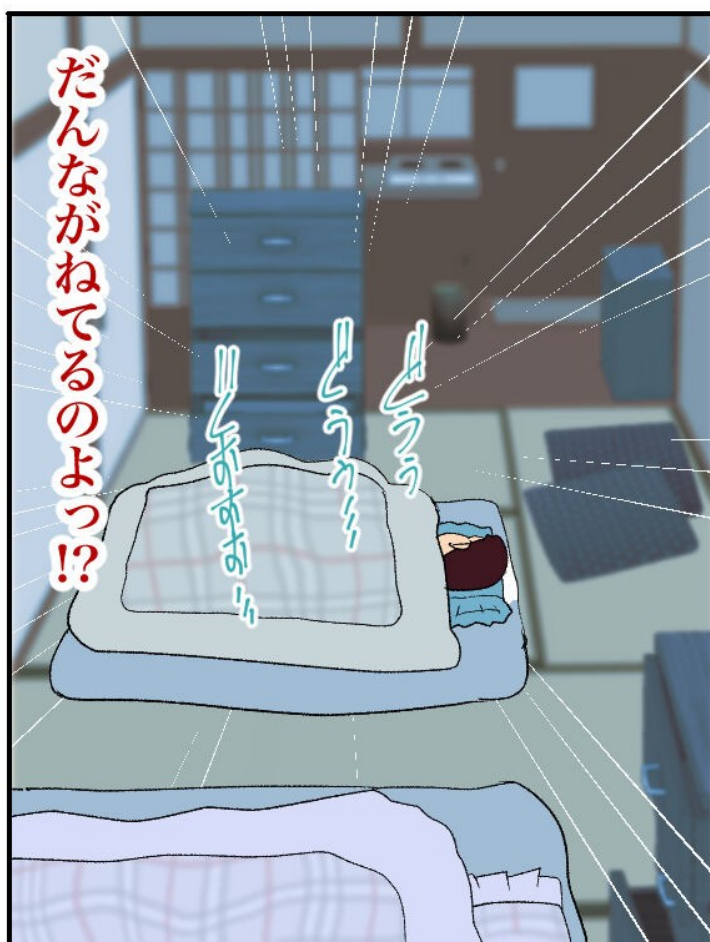
隣の

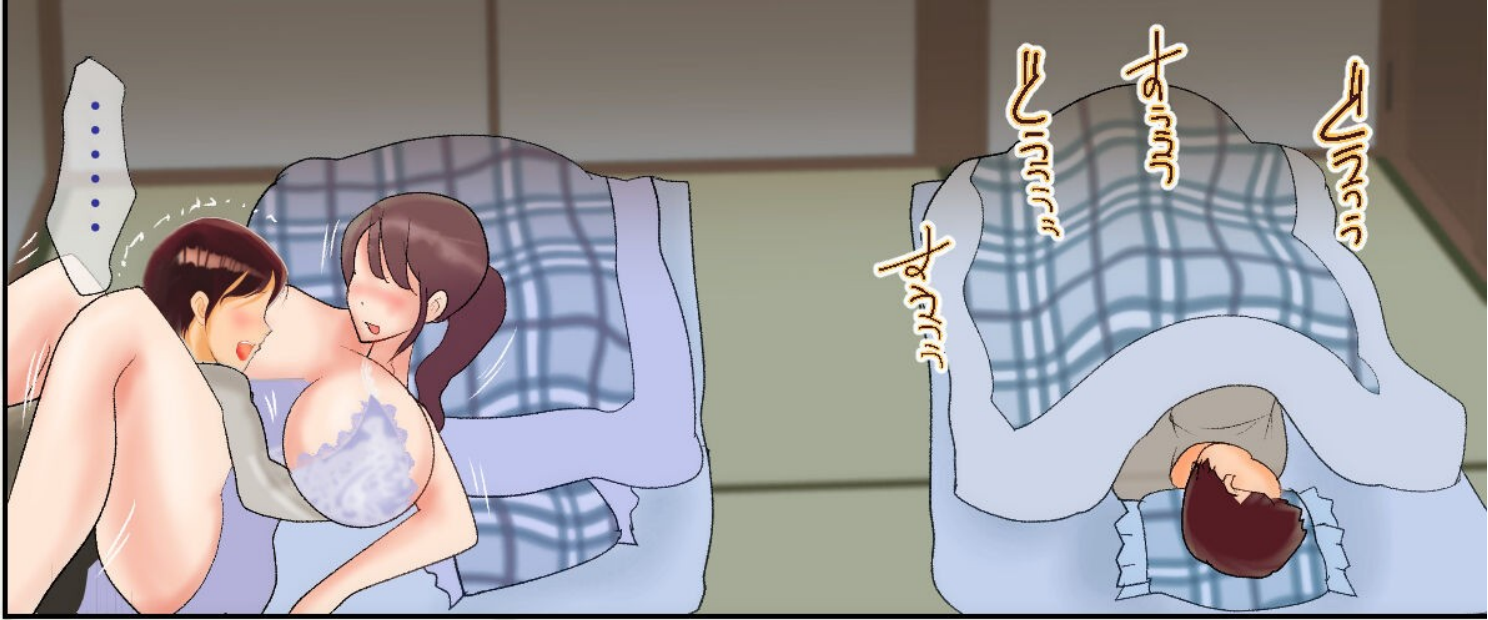
何だ...?

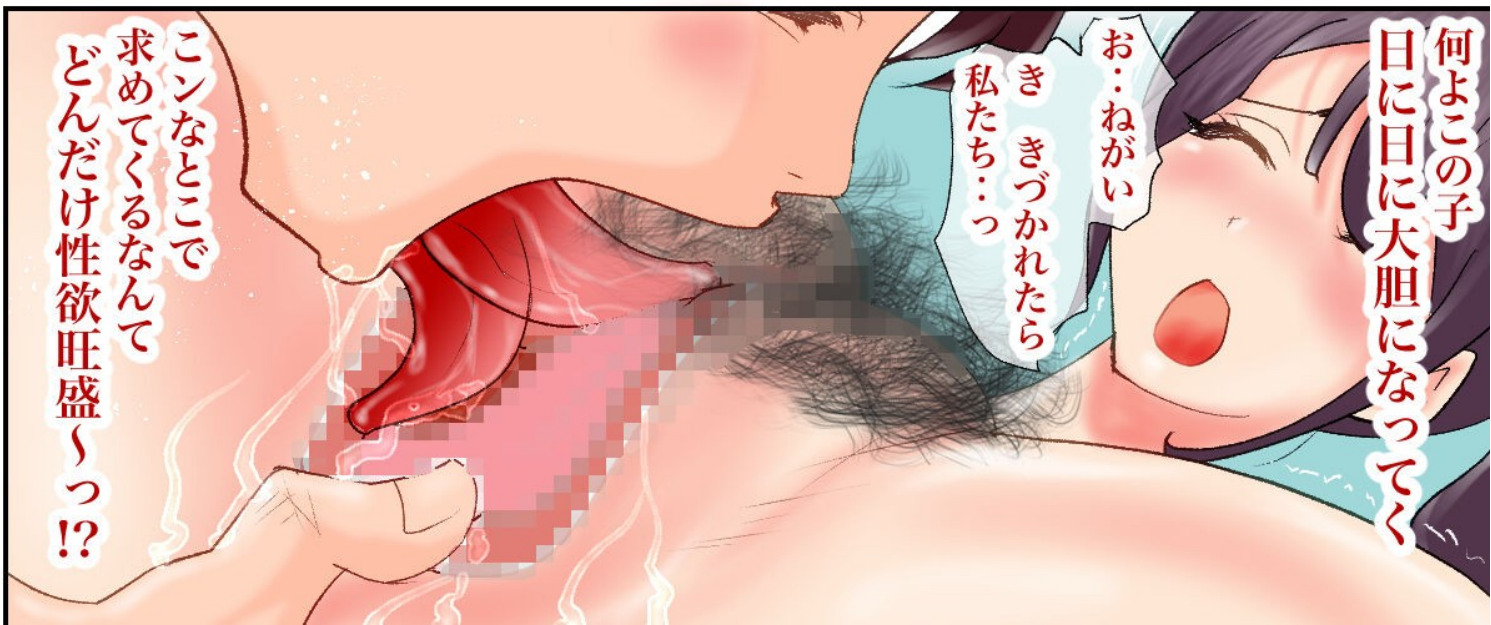
キラッ

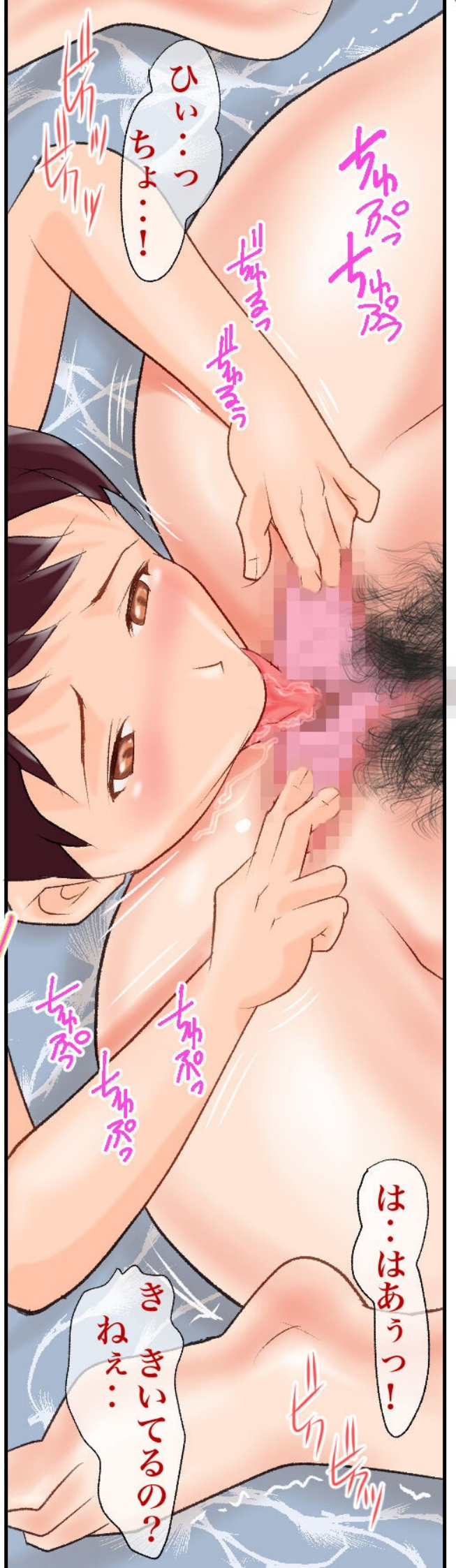
















こんな近いのに：
やめられないッ!!

どろろろ

おおお

一度いれたらもう
ぬぎたくない!!

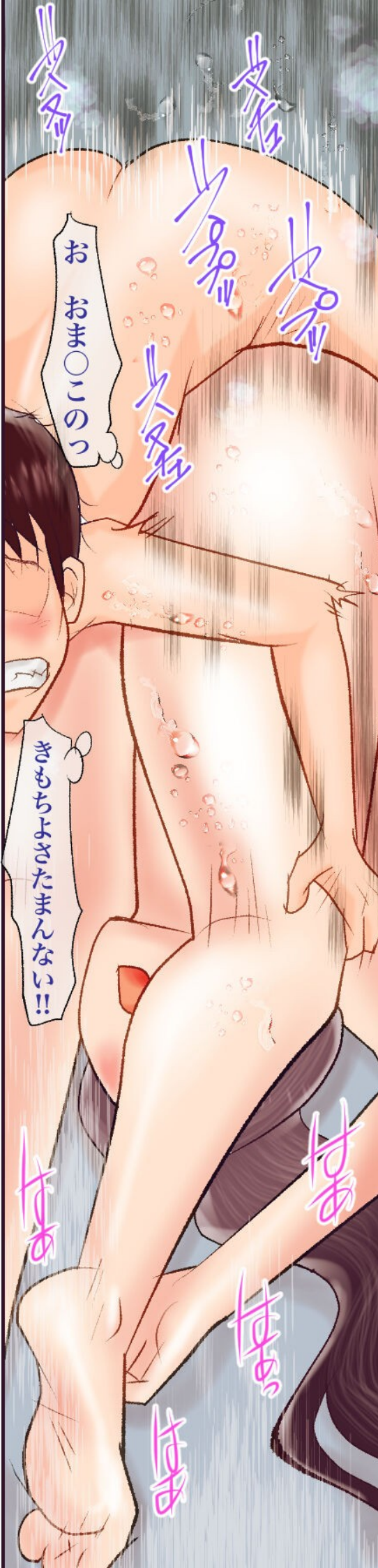


やめらんない
とまらないよ!!

おおお

もぞもぞ

おおお

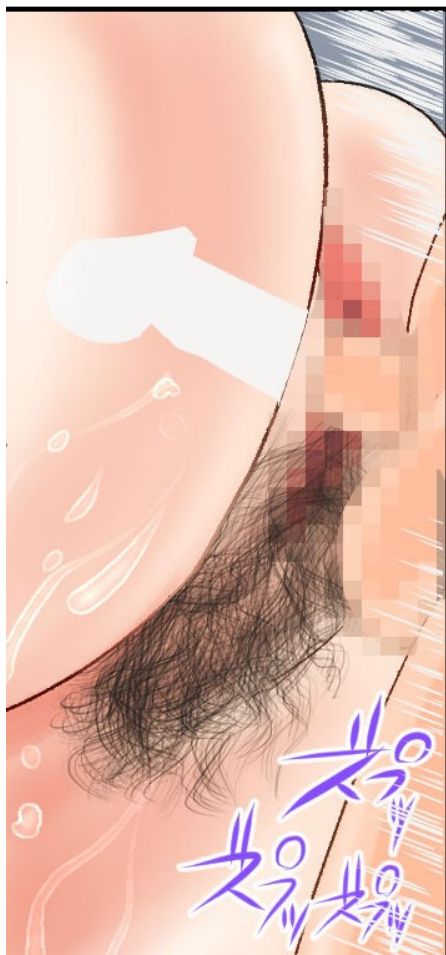


お おま○このっ

きもちよさたまんない!!

はあはあはあ











平日午後
六時半



あら…!!

ハチャツ

まー君…

どうしたの急に?

わな わな

うああ…
みみずぼさん…

ちふ ちふ

ももう
ボク

はあ
はあ

おかしく
なりそーなんだ!!

はあ
はあ



ね…ねえ苦しいのはわかるけど

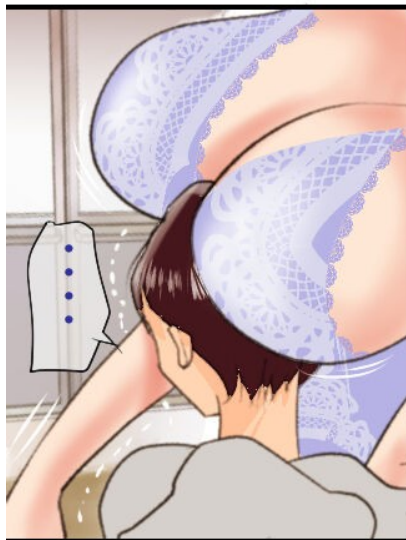
うああ
…っ!!



三日後入試本番で
おかしくなりそうだよ!!

勉強漬けで
苦しいんだよう
助けてよおお!!

ちよ…と



い 今夕食の
支度中だし
それに

ダンナも：
居るのよッ

今おふろ入って



みずほさんと
愛し合うと

必ず
勝てる気が
するんだよお

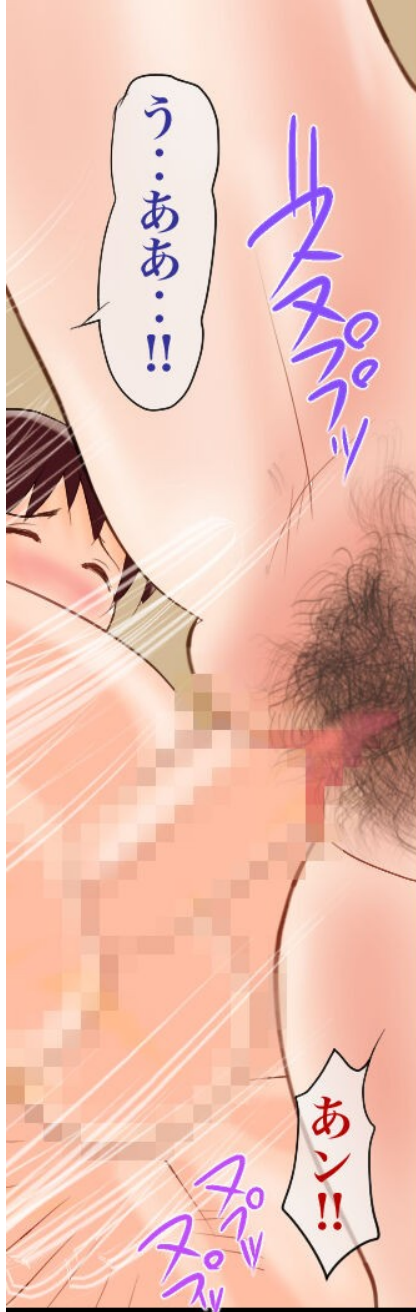


ま まずいわ
やめて! ねえッ

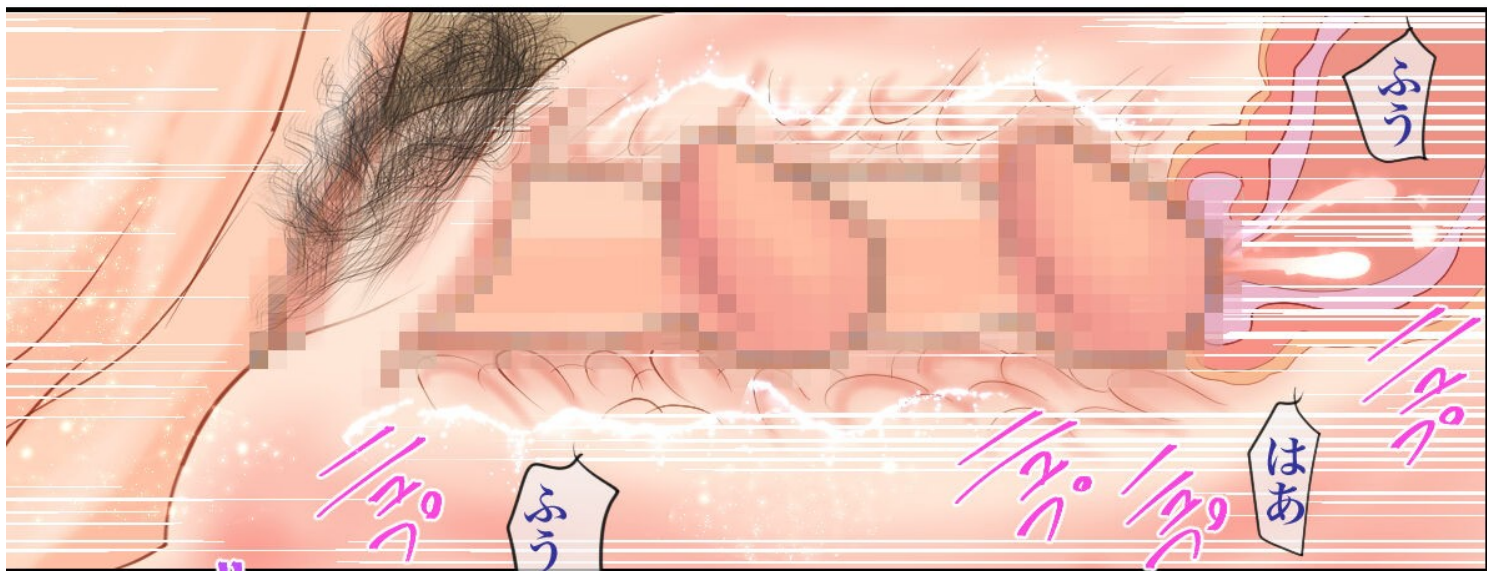


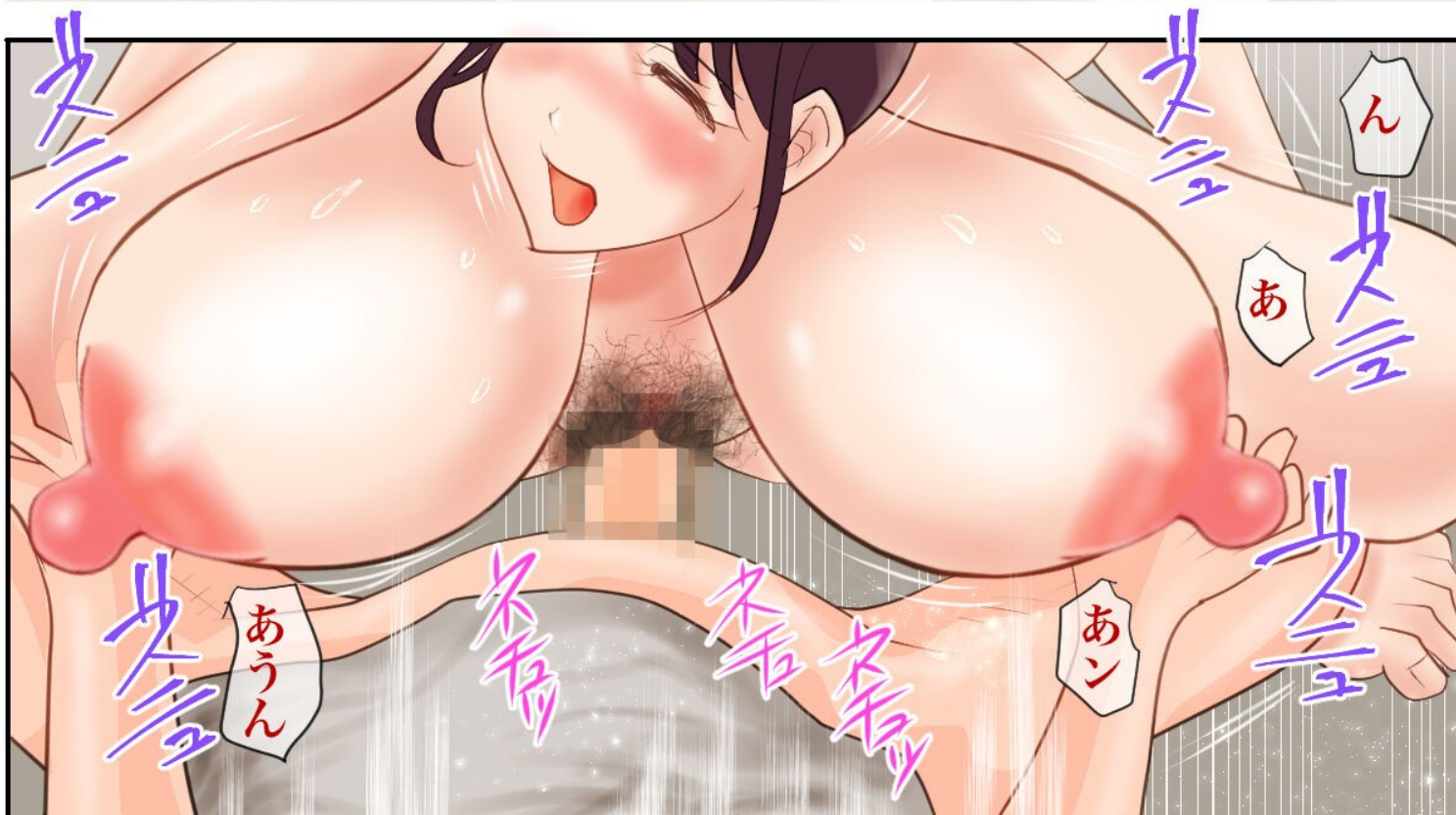
じゃ
ちようどいいよね
今のうちだね

何が今のうち
：んむむ









そして――

本番当日は：
幾多の数式と文法
おま○この鮮明な形状が
何度も脳裏をよぎりながらも
入試に臨み

見事
希望校進学を
勝ち取れた：！

新学期を迎えた後も
飽きるどころか
帰宅後毎日必ず
やらせてもらっている

あ

あ・あ!!

うあ・あッ!!

いつかバれるその日まで――

彼は毎日隣の人妻に
せっせと入れ続けるのだった

うッ!!!

はくはくはく

はくはくはく

はくはく

はくはく





